いわき民報

平市田町四八　電一八一番
編輯兼發行人　千葉克巳
印刷人
日刊（但月曜を除く）
定價一月四十円　一部一円五十錢
發行所　いわき民報社

河西局長に放送局昇格協力を懇請

あす市が主催で歡迎懇親會開く

往年の名アナ現仙台中央放送局長河西三省氏は一日午後一時三十二分着列車で來平市役所に鈴木市長を訪れて挨拶、平放送局分局を視察、全局の本局昇格問題等についての一般情勢等をみそから甲陽館に一泊、三日歸仙することになつた市ではこの好機逸すべからずと午後四時半から越ノ家に河西氏歡迎會を開いて石炭局、鑛業連盟、石炭協會、市會その他文化關係團体代表等も交えて懇談、本局昇格について全局長の協力をも懇請することになつた

全炭鑛が「平放送局昇格」に起つ

きのう炭鑛ラヂオ放送懇談會　放送文化委員會結成をも決定

石炭鑛と石炭局共催、石炭協會、鑛業連盟、各炭鑛勞組、炭鑛福利協會平支部の後援による炭鑛ラジオ放送懇談會は三十日石炭局に東京中央放送局から白神社會課長仙台中央放送局から岩崎放送部長、平放送局から菊田局長の臨席を得て開催、ラジオ放送强化對策としてニュースその他の放送資料の嚴選提供、親子ラジオ等の整備等をなすこと並に放送内容に對する希望等があつて結局、石炭局を中心に常磐炭田全炭鑛その他關係團体や文化人を網羅して放送文化委員會を結成することに決定した、ついで平放送局分局の本局昇格運動問題等について懇談の末、全炭鑛が擧つて全面的にその實現に向つて猛運動を展開することをも決議した

理事は今回も上京中古垣氏と會談してこの程歸平したが、その結果を一日午後次の樣に語つた

從來の如く五〇wの機械設備では勿來邊でも聽えず肝心の「炭鑛の夕」も何の役にも立たないからと善處方を古垣君に頼んだ處「よろしい、五〇〇wの設備をすれば聽えるから」と私としては意氣込んでいただけに一寸拍子抜けする樣な返事を貰つた、なお石炭鑛長官や農林省の高官からも頼んで貰うことにしてあるから有望と思う

非法組協漁業

三日江名で街頭錄音

東京中央放送局から錄音班が

漁業協同組合法はいよ〳〵今度議會に提案されることに決つたので組合法に對して漁業關係者はどうみているか輿論を聽くべく東京中央放送局では靜岡縣由比ヶ濱と江名町を選んで錄音放送班を派遣、漁業會前で午後一時から街頭錄音することになつた、絶好の機會であるから漁業關係者はもちろん廣の一般の人々も擧つて忌憚ない意見を開陳して欲しいとの放送局では望んでいる

給食校にフキンと手拭

こゝ二、三日中に學校給食調理室用手拭布フキンの配給がある、配給華は給食人員千名に就き約七枚となつており、値段は手拭一本十一円、フキン一本三円七錢、郡

教委選たけなわ

あと四日に迫つた教育委員の選擧は各地とも言論戰今や酣である、木村守江候補は連日にわたり猛運動を展開しているが、「此の人を落すな」と若い女性達

方面を十ヶ所、一日は二十ヶ所も開いたが、彼女達は木村候補は人格高潔で教育方針をきめる正しい判斷力があり、それに最高の學校も出ている教育には理解ある人で、自分の醫師としての職業にも成功している若い委員に當選出來れば熱心に精魂を打込むことが出來、資産も時間もおしまぬ最適任者だと述べ聽衆の人氣を博している、明二日は磐城跡方面から北目、平窪方面へ遊説に出かける

女性遊説隊街頭進出

木村守江候補を落す勿れと

未だに徒弟制度存續

小名濱造船やり玉にあがる

去る二十八日小名濱方面の土建業者の一齊臨檢を行い不正雇用その他勞基法違反の調査を行つていた平勞働基準監督署では有限會社小名濱造船所が今なお親方、徒弟制度を公然と維持し全使用人二百名、中滿一十歳以下の少年達六十三名を仕事見習として七名の親方式船大工宅に分宿させその勞働賃銀も宿泊食事代として大部分を天引し一ヶ月僅か小遣として二、三百円位しか與えずにいたと言う前世紀的な制度を行つていたことを摘發、全所長藤谷寅之助氏（五五）を取調べ調書をとつたが當の藤谷氏はもちろん、摘取されていた若い徒弟達も自分達が眞に搾取されていたのかどうかも全然自覺していない實狀でいかに今なお勞基法の趣旨徹底が一般隅々まで行き渡っていないかを如實に暴露していた

棄權防止に啓蒙運動

平婦人同盟教委選擧に森に起つ

平婦人同盟では教育委員選擧は教育の民主化のために最も重要な意義があるが選擧民大衆の關心は案外低調で若しこのまゝ放置すれば棄權者が相當多いのではないかと憂慮し一日から棄權防止の啓蒙運動に乘出し街頭や映畫館その他多數人の集合場所で大衆に呼びかけた

山野邊優君（古河）優勝

きのう平地區炭鑛雄辯大會

炭鑛福利協會平支部主催第三回全國炭鑛平地區雄辯大會は三十日午前十時から平市大工町炭勞會館に開會、十月下旬九州に開かれる全國炭鑛雄辯大會參加者の豫選だけに、常磐地區の代表十名の參加者があつたが四名缺席棄權し六名の炭鑛の青年が「石炭增産を再確認させ、增産を妨げる隘路打破」炭鑛文化の昂揚」を論旨に雄辯を闘はせ、好間村古河炭鑛の山野邊優君が入賞し、三千円の賞金と全國大會出場權を獲得した、定刻平石炭局の柳瀬事務局長が本大會開催の意義を述べ挨拶し同勞勞部長伊佐審査委員長から審査上の注意があつて、この日特別出演の炭鑛のど自慢大會入賞者の慰問發表があり、引續き十一時から雄辯大會に移つた結果次の如し

◇一等賞金三千円「石炭はどうしたら增産出來るか」古河炭鑛　山野邊優

◇二等賞金一千円「增産の中堅勞力は叫ぶ」東北油戸炭鑛　忠鉢豐雄

◇三等賞金五百円　常磐炭鑛　磯　德夫

審査員

平石炭局勞働部長伊佐忠義
東部石炭復興會議事務局次長小柳利平、福島民友平支社長座村清、本社社長野澤武藏

目的は一部村議の排擊に

意外にもつれる鹿島消防問題

【昨報】年手當減額と未支給とを理由に團員百五十名中團長以下約百三十名の大量辭表を提出し手當減額を決定した鹿島村消防團問題は事態を重視した地方事務所の招きに應じ一日午前八時急遽來平した八代鹿島村長と稲崎所長、芳賀總務課長ら三者の二時間に及ぶ會議となり問題はいよ〳〵村政治問題となつて來た、即ち辭表を提出した新妻二行團長らの意圖は一應は手當減額をきつかけとしておるもその目的とする處は去る三月二十九日の村會に於いて減額案を强硬に主張、遂に全員一致を以つて全案を通過させたと見られる全村會總務委員長鈴木金藏氏ほか三、四名の村會議員等の辭職を要求し様とするものにあるらしいが、しかし斯かる議員不信任の問題も現下重要な任務にある消防團員が總辭職すると云う手段を以つて要求することは果して民主主義下の現在妥當な方法であるかどうかは一部關係者の批判の的となつているいづれにせよ鹿島村は本問題をきつかけに從來くすぶつていた一部議員に對する不信任が更に擴大され意外な方向に發展するものではないかと見られている

八代村長が先づ斡旋

この樣な問題が發生して村長として誠に申譯なく感じている、今の處私自身に對する不信任はないので辭職する考えはない、問題は村の政治問題なのでこの拾收には万全を期す考えだ、唯私としては斯る問題が何故總辭職と言う方法をとるに至つたかが不明であるので辭表の受理は出來ない、火災の場合は從來通り出動することに言質はとつてある

早く解決せよ

芳賀總務課長談

八代村長が辭村して更に村會側と消防團側とを斡旋することになつているのでそ

辭表は受理しない肚だ

八代村長の談

八代村長は語る

地方事務所芳賀總務課長談

八代村長が辭村して更に村會側と消防團側とを斡旋することは自發的勞働なれば九時間稼ぐことも敢て違反ではないのでこうした方針をとるか、或は賃金のことも經營者の立場も考慮して双方の協定によつて新賃金を決定することも萬止むを得ないと思う、從來ヤマの賃金は勞働攻勢による一方的な譲

九月村會で手當增額

あわてた村會側

二方かゝる消防團の動きに狼狽したか全村會ではさきの九月村會で團員の年手當を他町村並に百円に增額現實的な陳謝の意を表していた者である

十月以降の新賃金對策

炭勞東部支部第四回委員會は一日午前十時半から市勞働會館に開き中央第一回交渉の十月以降の新賃金に就いての經過報告並にその對策に就き協議する

いわき寸言

◆いよ〳〵十月、大氣いよいよ澄む、人の心も清く澄まぬものか。

◆早場米の供出をみる、うれしい稔りの秋の幸先き良きを祝福すべし

◆火消しが目的の消防團が火災同樣のゴタ〳〵、困り申したワイ

民報論壇

群小炭鑛の經營の問題

日豐福島炭鑛（赤井村）は經營困難に陥りこれが打開策として勞働賃金の二割減と勞働時間一時間延長を勞組に申し込んだ、勞組側は三百五十二名の死活にかゝる重大問題として果して經營者のいうことが眞實かどうかを當局に調査してもらうことにしその結果によつて態度を決めることになつたと傳えられる、經營が困難になつた理由は白炭のカロリー制による炭價の決定（三千カロリーものトン千八百八十円）と政府の赤字補償の切打りと勞組側の勞働能率があがらないという指摘こゝ數ヶ月の間毎月二十數万円の缺損であり勞働能率に於ては現在月産九百トンだが戰前まではこの勞働陣容で千三百トンをあげていたので少くとも千トンは出さねばならぬが、一三の不良組員に引きずられて能率があがらないというのである

思うに本問題は單り日豐福島鑛のみの問題でなく常磐炭田の群小炭鑛全部の問題で經營者並に勞働者お互が充分研究しなければならぬ死活に關する問題である低品位石炭價格については尚政府側と接衝の余地もあるだろうが、他力に依存せず現在の條件下において勞資共に立つていけるように工夫することが肝要である若しもこうした考慮が拂われず現在のまゝの行き方であるとすれば各ヤマは殆んど經營難に遭遇する悲しむべき運命が待つているようであつて、同時に國家再建の基礎となる石炭が減産すれば國家的見地からも大きな問題である、それで打開策としては經營者と勞働者が混然一体となつて出炭能率をあげてヤマを潰さないように全力を傾注すべきであるが、これがためには勞基法による八時間勞働を全的に働くか、場合によつては自發的勞働なれば九時間稼ぐことも敢て違反ではないのでこうした方針をとるか、或は賃金のことも經營者の立場も考慮して双方の協定によつて新賃金を決定することも萬止むを得ないと思う、從來ヤマの賃金は勞働攻勢による一方的な譲があつたようであり、このことが各ヤマの經營者を困難に追い込んでいるとも見られる組側のこの點に關しては勞組側も充分考えなければならぬこと、思うこうした第三者はすぐに「勞働黄車」と反對するが、「然し實狀はどうしてもこの方法によらなければ打開の途はない」ので關係方面の考慮を促す次第である（田原）

移轉お知らせ

◇驛前より西の方　いわき民報隣りに移り從前通り診療致しております

平市田町驛前大通り（いわき民報隣）

醫師　鈴木一男
齒科醫師　鈴木齒科醫院

平市仲田町六九

内科
小兒科　三井醫院　三井五郎　電六一五

◆新築移轉御知らせ◆

強制疎開以來驛前假營業所に於て皆樣に御不自由をお掛け致して居りましたが今度三年振りに當所に戻つて參りましたから何卒倍の御引立御支援の程御願い致します

平市四丁目（郵便局隣）電一四四

小野屋藥局

内科
外科
小兒科
産婦人科　若松醫院

若松信吾
小野彌久

（入院室完備）平市大町二三　電五〇五番

中古衣類破格販賣

御婚禮江戸褄
モーニング
高級衣裳
その他

お求の際は是非一度御相談下さい

▽秋柄及冬物新入荷△

中古衣類販賣目　中央會館

平市南町（平劇隣り）電九一五一

電話番號變更御知らせ

耳鼻咽喉科　大和田醫院

舊の一七〇番が復活しました

平市南町十六番地

各種ミシンの販賣と修理

平和通り　三浦商會ミシン部　電八六四番

磐城戍辰史

戍辰私記、會津、仙台戍辰史料による

⑩

鈴木光四郎

戍辰悲話　天田愚庵の生涯（文化史による）

戍辰の役には幾多の悲話があるがとりわけ天田愚庵の一生こそ波亂に滿ちたものであつた。悲話の主人公天田久五郎は愚庵又は鐵眼と稱し中藩士天田平太夫の子として生れ幼にして神林せい濟の敎を受けた。明治戍辰十五万で藩兵に伍して奮戰した。七月十三日平落城後、家に歸れば父母妹は中山村（今の飯野村）に避難していると聞き尋ね求めたが既に離散して居らず、又何者かに殺されたのではないかと父母妹の生死を探ねて一生涯日本中を遍歷した。この間山岡鐵舟に學び、或は清水の次郎長の養子となり或るときは學者、寫眞師、書家、神官等に姿を變えて父母妹の存否を確めるために苦心したが終に知る事が出來ず明治二十六年京都の滴水禪師に歸依し更に四國三十三所を巡禮した明治三十四年伏見桃山に草庵を結び愚庵と稱した。

愚庵はこのような數奇な運命の人として人生のあらゆる悲哀、困苦、艱難を味はつたのであるが少年時代に鍛練された志操は變ることなく最後に入道して精神的飛躍をとげて安住の境涯に至り歌に詩に文章にすぐれたる業績をのこしたのである。彼の父母を憶う歌のなかに次のようなものがある。

まささきくて在せ父母御佛のめぐみの末にあはざらめやも

靈子我巡り逢へりと父母のその手を執れば夢はさめにき

夢ならば醒きて見ましと我思へど音のみ泣かれていねがてぬかも

安藤信正の晩年

嗣子信勇のたん願によつて明治二年八月信勇は平へ復歸を命ぜられた。信正も同年九月に叡慮を以て永ちつ居を免ぜられ世の開明を窮地に見ながら二年有余の風月を楽まれた。

明治四年十月八日信正は長逝した。時に五十三歳、東京の麹町の栖岸院に葬られた。法號を謙德院殿秀學松嚴鎮翁大居士と送られた。

一世の大政治家先に親米平和外交政策を實行し又公武の合体をはかつて幕府の難局を處理し、黎明日本の文化發展に寄與した彼の生涯は波亂のうちに終つたのである。

むすび

以上を以て平藩主安藤信正を中心として史料に殘るものを參考として磐城地方の戍辰史の概略を述べたのである。史料のとぼしいこの地方であり、尙又研究も充分であるので完全を期することは出來ないが、八十年前の吾々の祖先の跡をしのんで下されば私の幸とするところである。

（昭和二十三年八年十日この稿終る）

サンマにわく小名濱

けさはカツオが千五百貫も

二十九日夜から三十日早朝にかけ小名濱港へ敵訪丸は一万五千貫、海津見丸と第三香取丸（何れも小名濱港所屬）が各六千貫のサンマを積んで相前後し入港、直ちに水揚げを開始し香取丸は三十日夜、敵訪丸は一日早朝、海津見丸も同午後息つく暇もなく第二航海の途についたがこれより先、榮福丸（中の作）も三十日午前九時サンマ四千貫を積んで母港へ入港しておりまたカツオ漁に出漁中だつた新日本丸（小名濱）も一日早朝カツオ千五百貫を積んで母港へ歸つているのでこれら連續的に漁場から引揚げて來る漁船群によつてハマは早くもごつた返しサンマ豐漁の報に久しぶりにハマ人を大驚びさせている

二日の後續水場げ豫定

小名濱水試無電局の入電によればこのほかサンマを積んで歸港中の船は一號情勝丸（江名）が一万五千貫の滿船で二日に歸港するのを始め、苅込八幡丸（四倉）が同樣一日早朝宮城縣鹽釜港へ、十一號拓洋丸（中の作）は約一万貫を持つて三日畫ごろ母港へ歸るほかカツオを追つて出漁中だつた天神丸（小名濱）もカツオ千五百貫を積んで二日に母港へ歸る豫定で三十日から二日にかけ連續的にハマは賑いを豫想されている

何といつても豐漁型

期待は極めて大

サンマを積んで歸港した各船からの情報によれば漁場は順次南下しつゝあり現在東經百四十度、北緯四十度の八戸から東百五十マイル沖合にあたり潮流の狀態も十七度より十五度までの適溫水帶が例年に比しせまい範圍に寄つているためこの水帶の發見が難かしいものとされ一旦この漁場に遭つた船は狹められた水域にサンマ群が集つているので相當の漁獲を見ており今後この水帶が如何なる形で南下するかが今後のサンマ漁を支配する重大なポイントになるわけである

金詰りが強く反映

公債付電話架設申込み不評

平局ではかねて申込みを受け付けておいた電話架設申込者一百名について三万六千円の電話公債を引受けても新規加入を希望するかどうか調査中のところこのうち百二十名のお詰を得た、最初同局では最低百五十名、皆悲にみて百八十名全部の申込みがあるとみていたのに案外すくなく電話公債も流石に金詰りが反影して人氣がないことが立證された

従來の新規加入者は九百五十円で新設出來たが電話公債法が實施されてからは同公債二万六千円に架設費千八百円の負擔が加はつたもので このため電話の必要者からも幾分遠慮されるに至つた

これより先同局では二十一年以來電話增設をまだ一回もしていないのでこの程交換台一台を取寄せ約四百口の新規加入に應じられるよう準備を進めているので今回の新規加入の希望調査に引續いて近く一般市民へも希望者を募ることになつた

食料事務所

滯貨り食料

對抗野球戰

事務所では月産二万二千貫という優秀さである。今後獨樂紙と匿紙の製造に拍車をかける

東横製紙工場再開さる

さきに火災で燒失した市内正月町東横製紙平工場では以來鋭意再建工事中のところこの程漸く成り、六十インチの機械設備も終つたので三十日午後三時から高橋稅務署長、岡部助役、本田署長その他有志の來臨を得て佐野社長も特に遠み盛大な開業運轉式を擧行した、新機械は日産四百貫、月産一万二千貫という優秀さである。今後獨樂紙と匿紙の製造に拍車をかける

平隣保館の初運動會

三日平商高校庭に

平隣保館では三日平商高校庭に初の獨立運動會を開く、全館では從來獨立で開いたことなくいつも各學校の運動會に參加させて貰つていたものだが、本年度は團兒も四百余名に達したので、開館以來八年四ヶ月振りで催すことになつたもので早くも人氣を呼んでいる

社神泉溫本湯

秋の大祭

安慰待招も者齢高

湯本町溫泉神社秋祭は來る八日盛大に擧行されるが全社では更に七十歳以上の町内高齢者多數を招き長寿祝の茶器を贈るほか夜は町内有志による素人演藝大會も開くことになつた

平放送局設置と平教員組合

重要産業の中心地である平市に放送局を設置する必要性について

投書は住所氏名明記のこと

既に度々發表された。又平中機所を昇格して放送局とする期成同盟が鈴木傳明氏司會のもとに八月二十三日結成され市町村の民意を集めて運動中である。敎員組合平支部は九月十一日臨時大會を開いた際平放送局昇格についての決議文が万場一致可決され全組合員は全力をあげ應援することになつた。石城支部でも執行部會に於て全面的に援援することが決定した。

これからの新しい敎育として音感敎育が取上げられ學校放送、敎育に關する放送には敎組として重大な關心を持つてゐる。平支部内に放送敎育研究會を作り平市を文化都市に前進させたいのである。平市に放送局を設置したときの利益は言を俟たないが我々は決議文に對し具体的方法としてNHKその他に發送する外、市民各位の署名運動やポスター展を計畫中である。

縣下各地の情勢は若松市、原町、白河町が放送局設置の運動を起してゐる。原町では既に縣會にて設置決議がなされ目下運動が展開されてゐるので平市としては猛然立つべきときである。放送局設置はどうすれば出來るか。中機所長菅田氏の談によれば敷地が提供されれば建物、設備は一切NHKで負擔するのであるとは地元の民意如何によつてきまつてくるとのことである。現中機所附近の土地は平市所有で現に平市として土地提供の熱意を示してゐるのであるとは我々市町村民の熱望を強力に當局に表明するのみである。ところが放送局の設置は熱望されて列車に頭部、兩足を轢かれ捕され一日朝湯本署に護送された、殘す一名の東京都新宿區牟礼加藤某（二三）の逃捕も時間の問題と見られている

水稻の坪刈り

農林省作物報告事務所平出張所では四日から一ヶ月間の豫定で郡下各地の水稻坪刈りを實施する

精神病者の鐵道大往生

近來にない成績を示す

きのうの列車取締

平地區、目治廳署の列車檢索隊は三十日上り二二、二二八、二二七、二二八の四本を急襲、違反六十件（うち無主物四件）をあげた、送檢は無く又鑑憲期の故か大物は別に見られなかつたが、收穫は近頃にない成績であつた

◇米類二九六キ◇雜穀二三キ◇甘藷六キ

一日午前五時頃湯本町湯本大字愼城元採炭夫柴田喜三郎さん（四〇）は全町寶海附近の線路上に大の字に寢て折柄の勿來發常磐線下り列車に轢殺された、柴田さんは數日前から精神に異常を來たし昨三十日も全裸体で往來を歩いていたもので當日も四時頃迄の詠子さん（一六）の止めるのも聞かず家を飛出し遁つて來た詠子さんの目前で線路上に寢て轢れたもの

湯本五人組强盜片割一名捕わる

【昨報】去る二十四日夜湯本町關船雜貨商小松茂正さん（二六）方を襲い六時間もねばつた五人組强盜のうち一名は湯本で二名は平驛で即日湯本署に捕われたが、逃走中の二名のうち一名の東京都中野區生れ湯本町水野谷田中土建飯場土工岩本守（二二）も三十日東京中野區へたち廻つたところを手配中の中野署員に逮捕され一日朝湯本署に護送されて約六米下の溝の中に落ちている身許不詳の男の轢死体を通行人が發見屆出た、平市署で自殺か又は昨夜の列車檢索に飛び降りての過失死ではないかと見ている、年齢二十七八歳位身長五尺一、二寸面長坊主刈、眞新しい國防色の軍服を着用している

主食類の不正受配

好間村北好間字椎木平採炭夫駒木正夫（二四）は三月下旬から八月末までに群馬縣即橋刑務所で入所中の弟の名前が米穀配給通帳から削除されていないのを利用して前後十三回にわたつて食糧公團依託小田圓城炭鑛配給所から米五十一キロ、馬鈴薯三貫匁、砂糖五キロを不正受配していたことが發覺、詐欺並に食糧管理法違反で三十日平地區署に檢擧

平の轢死体

一日朝五時半ごろ市内彌宣町平電所前常磐線の線路附近

罰金一束

平市一丁目青果物商小谷中勝巳（三六）大工町五所慶次（三七）二丁目青果物商里見榮一（四四）は罰金三千円、全日銀町青果物商松崎ヨシノ（五九）三丁目食料品商高木力（三七）佃町露天商佐川まつ（三二）は各二千円、いづれもトマトのヤミで◇錦町長子無職志賀源次郎は罰金三千円、四ツ倉町仲町漁夫久保木民夫（二四）は同五千円、◇内郷町白水有賀マチ（四十）は全四千円、好間村上好間鮮魚商鈴木甫（三一）も全千五百円、草野村下神谷農坂本誠（二五）同千五百円、植田町植田玩具商渡邊武雄（三一）は同五千円、いづれも米のヤミで◇勿來町酒井太泉車松（四九）は砂糖のヤミで罰金三千円

放射線科

内科

谷口醫院

平市一丁目横

皆様の安田銀行は
10月1日より
下記の通り改稱致しました
富士銀行平支店

キモノと洋服…買入ト販賣
福屋
平驛前シロガネ通リ
（平驛下車左大通り角カラ五軒目）

ぬれたインキで乾いて書ける
ポール・ポイント・ペン
岡書年筆店
平市三丁目　電三九九

美術石膏各種入荷致しております
どうぞ御批評下さい

▲演劇用かつらと化粧品▲
丁字香理容百貨
在庫豐富
安藤理容器具店
（舊名）安藤かもじ店
平市田町

ハートの美人
社交に家庭に
各藥局に為る
美容と予防に